

長崎県諫早市で発生した列車脱線横転事故（最終報）

平成15年7月22日12時00分

総務省消防庁

- 1 発生日時
平成15年7月18日（金）21時45分頃
- 2 覚知日時
平成15年7月18日（金）21時51分（119）
- 3 発生場所
長崎県諫早市高天町 JR長崎本線肥前長田・小江駅間
- 4 事故の概要
長崎発博多行き特急「かもめ46号」（6両編成）が落石に接触し、前3両が脱線するとともに、先頭車両が横転したものの。
- 5 負傷者
36名（男性21名、女性15名；重症1名、中等症7名、軽症28名）
うち35名（男性21名、女性14名）を救急搬送
その他の乗客等のうち41名は、高天町構造改善センターに一時避難
- 6 消防機関の活動
(1) 出場車両：救急車8台、ポンプ車1台、タンク車1台、救助工作車1台、指揮車1台、広報車1台（計13台）
他に、消防団車両4台、諫早総合病院及び国立病院長崎医療センターより救急車2台出場
(2) 出場人数：消防職員133名、消防団員（3分団85名）
他に、国立病院長崎医療センター、諫早総合病院、諫早記念病院及び諫早医師会より医師6名及び看護師5名が現場へ出場
(3) 活動概要：要救助者の検索及び救助（23：25救助活動完了）、現場トリアージ及び救急搬送等を実施
- 7 収容先医療機関
諫早総合病院（11名）、宮崎病院（8名）、国立病院長崎医療センター（6名）、諫早記念病院（1名）、西諫早病院（3名）、古川病院（3名）、野田医院（4名）
- 8 発災自治体の対応
21時51分 消防対策本部及び消防現地本部設置（解散：19日3時00分）
23時00分 諫早市特別対策本部設置（解散：19日4時00分）
- 9 消防庁の対応
22時20分 第一次応急体制（解除：19日4時00分）